



## 2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月9日

上場会社名 株式会社AOKIホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 8214 URL <https://www.aoki-hd.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田村 春生  
 問合せ先責任者 (役職名) IR・広報室長 (氏名) 江口 聡 (TEL) 045-941-1388  
 四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	41,549	5.9	2,278	47.3	2,187	57.3	1,439	14.7
2023年3月期第1四半期	39,227	19.2	1,547	—	1,390	—	1,255	—

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 1,604百万円(9.5%) 2023年3月期第1四半期 1,465百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	17.06	—
2023年3月期第1四半期	14.79	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	225,695	131,875	58.3
2023年3月期	233,416	132,251	56.5

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 131,628百万円 2023年3月期 131,969百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	7.00	—	13.00	20.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	13.00	—	14.00	27.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	180,500	2.5	10,800	5.5	10,300	22.2	5,800	3.0	69.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年3月期1Q	86,649,504株	2023年3月期	87,649,504株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	2,760,169株	2023年3月期	2,746,866株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年3月期1Q	84,399,275株	2023年3月期1Q	84,902,947株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料)

・四半期決算補足説明資料については、2023年8月9日(水)の決算発表後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

	頁
1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済活動の正常化が一層進んだこと等により緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、不安定な海外情勢などからエネルギーや原材料価格の上昇、円安の影響等により先行きは不透明な状況が続いております。

このような環境のなかで、当社グループは下記のような諸施策を実施した結果、売上高は415億49百万円（前年同期比5.9%増）、営業利益は22億78百万円（前年同期比47.3%増）、経常利益は21億87百万円（前年同期比57.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は14億39百万円（前年同期比14.7%増）と増収増益になりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりです。

#### (ファッション事業)

ファッション事業は、商品面において、暑い夏を少しでも快適にお過ごしいただくため産学協同開発素材による「エアクルシリーズ」の商品展開を強化するとともに、引き続きご好評をいただいているパジャマスーツシリーズから新たに「パジャマブレザー」の展開等、カジュアル関連商品の品揃えを拡充いたしました。また、モーニングコートやタキシードを気軽にレンタルでご利用いただける「AOKI レンタルサービス」の全店展開を開始いたしました。レディースでは、メンズでご好評をいただいているエアクルスーツの素材を使用した「360°洗えるキレイスーツ（エアクルスーツ）」を新たに展開いたしました。店舗面では、AOKIで1店舗を新規出店した一方、営業効率改善のためAOKIで1店舗及びORIHICAで2店舗を閉鎖した結果、当第1四半期末の店舗数は594店舗（前期末596店舗）となりました。

これらの諸施策の実施等により、スーツへの回帰による重衣料及びクールビズ関連商品が好調に推移した結果、売上高は211億6百万円（前年同期比0.6%増）、営業利益は12億79百万円（前年同期比8.7%増）と増収増益になりました。

#### (アニヴェルセル・ブライダル事業)

アニヴェルセル・ブライダル事業では、ゴールデンウィークにアニヴェルセルの想いが詰まった挙式を体験していただける「ドレスが映える大聖堂ウエディングフェア」の開催及び引き続きWEBやSNSを活用した効率の良い集客施策を実施いたしました。また、開業25周年を迎えるアニヴェルセル表参道は、記念日にまつわるコト・モノ・ココロ・サービスを提供する施設として、2023年9月のリニューアルオープンに向けて準備を進めております。

これら諸施策を実施しコスト削減にも努めましたが、アニヴェルセル表参道の休館により施行組数が減少したこと等により、売上高は20億42百万円（前年同期比5.4%減）、営業損失は2億9百万円（前年同期は営業利益39百万円）となりました。

#### (エンターテイメント事業)

複合カフェの快活CLUBでは、東京商工会議所が主催する検定試験との連携や日経OFFICE PASSへの加盟等、ビジネス・学習用途でのサービスを提供するとともに、有名飲食チェーン店やメーカーとのタイアップメニューなど飲食メニューの充実を図りました。カラオケのコート・ダジュールでは、ジェラートリカちゃんやベイブレードエックス等とのコラボキャンペーンを実施いたしました。24時間営業のセルフ型フィットネスジムのFIT24は、インドアゴルフの導入を継続いたしました。店舗面では、FIT24で2店舗を新規出店した一方、営業効率改善のため快活CLUBで1店舗及びコート・ダジュールで1店舗を閉鎖した結果、ランシシステムの複合カフェ自遊空間他102店舗（内フランチャイズ56店舗）を含め、当第1四半期末の店舗数は806店舗（前期末810店舗）となりました。

これらの諸施策の実施等により、売上高は180億43百万円（前年同期比14.5%増）、営業利益は11億99百万円（前年同期比292.9%増）と増収増益になりました。

#### (不動産賃貸事業)

不動産賃貸事業では、当社グループ内店舗の遊休スペースの賃貸を推し進めたこと等により、売上高は12億72百万円（前年同期比8.2%増）、営業利益は2億21百万円（前年同期比9.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、売掛金の減少等により前連結会計年度末と比べ77億20百万円減少し、2,256億95百万円となりました。

流動資産は、売掛金が季節的要因等により55億92百万円減少したこと等により、前連結会計年度末と比べ95億83百万円減少いたしました。固定資産は、有形固定資産が21億43百万円増加したこと等により、前連結会計年度末と比べ18億62百万円増加いたしました。

(負債)

流動負債は、買掛金が季節的要因等により31億35百万円及び未払法人税等が法人税等の支払いにより18億38百万円減少したこと等により、前連結会計年度末と比べ66億73百万円減少いたしました。固定負債は、長期借入金が約定返済等により10億31百万円減少したこと等により、前連結会計年度末と比べ6億71百万円減少いたしました。

(純資産)

純資産の部は、利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益及び配当金の支払いの結果3億36百万円増加し自己株式が取得及び消却の結果2億88百万円減少するとともに、資本剰余金が自己株式の消却により11億65百万円減少したことにより、前連結会計年度末と比べ3億75百万円減少しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績について、経済活動の正常化が一層進んだことやコロナ禍からの反動等により、通期の進捗に対して、売上高及び営業利益は上回って推移いたしました。

通期の業績予想については、エネルギーや原材料価格の上昇及び円安の影響、また、物価上昇等に伴う消費者の節約志向の高まりへの懸念など先行きが不透明なことなどから、2023年5月11日に開示しました業績予想を変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	38,295	33,202
売掛金	13,114	7,522
棚卸資産	19,465	19,934
その他	8,015	8,667
貸倒引当金	△54	△73
流動資産合計	78,836	69,253
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	63,898	63,659
土地	31,021	31,021
その他（純額）	14,378	16,761
有形固定資産合計	109,299	111,442
無形固定資産		
投資その他の資産	7,007	6,930
差入保証金	6,628	6,537
敷金	19,013	19,058
その他	12,682	12,526
貸倒引当金	△53	△53
投資その他の資産合計	38,272	38,069
固定資産合計	154,579	156,442
資産合計	233,416	225,695

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	17,963	14,827
1年内返済予定の長期借入金	10,647	9,075
未払法人税等	2,012	174
賞与引当金	3,349	776
役員賞与引当金	65	33
その他	14,865	17,342
流動負債合計	48,904	42,230
固定負債		
長期借入金	36,206	35,175
退職給付に係る負債	895	886
資産除去債務	7,855	7,879
その他	7,302	7,648
固定負債合計	52,260	51,589
負債合計	101,164	93,820
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	23,282	23,282
資本剰余金	23,795	22,629
利益剰余金	87,434	87,770
自己株式	△3,490	△3,201
株主資本合計	131,022	130,481
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	682	899
退職給付に係る調整累計額	265	247
その他の包括利益累計額合計	947	1,146
非支配株主持分	281	246
純資産合計	132,251	131,875
負債純資産合計	233,416	225,695

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	39,227	41,549
売上原価	24,338	25,067
売上総利益	14,888	16,481
販売費及び一般管理費	13,341	14,203
営業利益	1,547	2,278
営業外収益		
受取利息	19	21
受取配当金	19	4
その他	53	62
営業外収益合計	91	88
営業外費用		
支払利息	90	79
固定資産除却損	27	13
その他	130	86
営業外費用合計	248	180
経常利益	1,390	2,187
特別利益		
受取解決金	—	500
雇用調整助成金等	230	—
特別利益合計	230	500
特別損失		
減損損失	131	86
特別損失合計	131	86
税金等調整前四半期純利益	1,490	2,601
法人税、住民税及び事業税	340	595
法人税等調整額	△106	600
法人税等合計	234	1,195
四半期純利益	1,255	1,405
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△34
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,255	1,439



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	1,255	1,405
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	229	217
退職給付に係る調整額	△19	△17
その他の包括利益合計	210	199
四半期包括利益	1,465	1,604
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,465	1,639
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△34

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

(自己株式の取得及び消却)

当社は、2023年5月15日開催の取締役会において、自己株式の取得及び消却を行うことを決議し、2023年5月16日に自己株式を100万株取得し、同年5月29日に同株数を消却いたしました。

これらの結果、自己株式の取得により自己株式が877百万円増加し、消却により資本剰余金及び自己株式がそれぞれ1,165百万円減少しております。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ファッション事業	アニヴェルセル・ブライダル事業	エンターテイメント事業	不動産賃貸事業	計				
売上高									
ファッション	20,981	—	—	—	20,981	—	20,981	—	20,981
ブライダル	—	2,157	—	—	2,157	—	2,157	—	2,157
複合カフェ	—	—	12,331	—	12,331	—	12,331	—	12,331
カラオケ	—	—	2,306	—	2,306	—	2,306	—	2,306
フィットネス	—	—	1,121	—	1,121	—	1,121	—	1,121
その他	—	—	—	—	—	5	5	—	5
顧客との契約から生じる収益	20,981	2,157	15,758	—	38,898	5	38,903	—	38,903
その他の収益	—	—	—	324	324	—	324	—	324
外部顧客への売上高	20,981	2,157	15,758	324	39,222	5	39,227	—	39,227
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	2	2	851	856	11	867	△867	—
計	20,981	2,160	15,761	1,176	40,078	16	40,095	△867	39,227
セグメント利益又は損失(△)	1,176	39	305	201	1,723	△0	1,723	△176	1,547

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告関連事業等です。

2. セグメント利益又は損失の調整額△176百万円には、セグメント間取引消去975百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,151百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門等の費用です。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ファッション事業」、「エンターテイメント事業」及び「不動産賃貸事業」の各セグメントにおいて、店舗の閉鎖や業態転換が決定したこと等により回収が見込めなくなった営業店舗について減損損失を認識いたしました。

なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においてはそれぞれ13百万円、113百万円及び4百万円です。

当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ファッ ション事業	アニヴェル セル・プラ イダル事業	エンターテ イメント 事業	不動産賃 貸事業	計				
売上高									
ファッション	21,106	—	—	—	21,106	—	21,106	—	21,106
ブライダル	—	2,042	—	—	2,042	—	2,042	—	2,042
複合カフェ	—	—	14,057	—	14,057	—	14,057	—	14,057
カラオケ	—	—	2,479	—	2,479	—	2,479	—	2,479
フィットネス	—	—	1,319	—	1,319	—	1,319	—	1,319
その他	—	—	165	—	165	7	173	—	173
顧客との契約から 生じる収益	21,106	2,042	18,023	—	41,172	7	41,180	—	41,180
その他の収益	—	—	18	350	369	—	369	—	369
外部顧客への売上高	21,106	2,042	18,042	350	41,542	7	41,549	—	41,549
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	0	0	921	922	14	937	△937	—
計	21,106	2,042	18,043	1,272	42,464	21	42,486	△937	41,549
セグメント利益 又は損失 (△)	1,279	△209	1,199	221	2,490	△3	2,487	△208	2,278

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告関連事業等です。  
 2. セグメント利益又は損失の調整額△208百万円には、セグメント間取引消去1,207百万円、のれん償却額△20百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,395百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門等の費用です。  
 3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ファッション事業」及び「エンターテイメント事業」の各セグメントにおいて、店舗の閉鎖が決定したこと等により回収が見込めなくなった営業店舗について減損損失を認識いたしました。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においてはそれぞれ20百万円及び65百万円です。